

2023年 共通テスト 実施要項公表！

コロナ禍のもと、前年と同様のスケジュール。
不正行為防止強化で、スマホなど電子機器類の取り扱い厳格化！

旺文社 教育情報センター 2022年6月13日

6月10日、大学入試センターは共通テスト実施要項を公表した。今月3日、文部科学省による「大学入学者選抜実施要項」で公表された本試験・追試験日程に加え、他の日程などが示された。あわせて、今春の共通テストでの不正行為を踏まえてスマホなど電子機器類の取り扱い厳格化を記した文書も公表された。

■2023年 共通テストの主な日程

◎受験案内配付	9月1日～
◎出願期間	9月26日～10月6日(検定料払込 9月1日～10月6日)
◎受験票送付	12月中旬まで(「受験上の注意」も同送)
◎本試験	1月14日・15日
◎平均点等の中間発表	1月18日(予定)
◎得点調整の有無の発表	1月20日(予定)
◎スタナイン(※)換算表発表	1月20日(予定) ※スタナイン=科目別得点の9段階の段階表示
◎追(再)試験	1月28日・29日 (試験会場は秋頃決定予定)
◎平均点等の最終発表	2月6日(予定)
◎大学への成績提供	2月6日以降
◎本人への成績通知	4月3日以降

■2023年 共通テスト 不正行為の防止策の要点

- ◎スマホなどの電子機器類を使用した不正行為防止の有効性を高める対応策
 - ・マニュアル等の提供(不正行為の事例情報、写真照合や巡視時の確認ポイントなど)
 - ・巡視回数の増加を大学に要請
- ◎スマホなど電子機器類の取り扱いの見直し
 - これまで=受験者各人が自分のタイミングで電源を切ってカバンなどにしまう
 - 見直し後=監督者指示で一斉に机に出させ、電源を切らせてカバンなどにしまわせる
- ◎受験者への注意喚起
 - ・不正行為に関する注意事項、不正行為を行った場合の不利益(※)を「受験案内」「受験上の注意」により注意をひくよう記載。新たに「受験番号票」にも記載
 - ・新たにリーフレット等を作成。受験者に周知。高校での活用を促す
 - ※不利益=受験した全教科・科目の成績無効。警察に被害届を提出する可能性があることなど

2023年の共通テストの主な日程は前ページに記した通り。既に文科省「大学入学者選抜実施要項」で公表されている本試験・追試験の日程に加えて出願期間、平均点、得点調整の有無、スタナインなどの公表スケジュールが判明した。日程の枠組みは2022年のスケジュールと同様だ。

一方、各大学が入試センターに納付する受験生の成績提供の手数料は、2023年は1人1回につき1,500円と定められた。成績提供の手数料は2020年570円→2021年750円→2022年1,200円と推移しており、3年連続の値上げとなった。

受験生が払う検定料は3教科以上18,000円、2教科以下12,000円、成績通知手数料は800円で、前年と変更はない。

なお、現時点で国立大学協会、公立大学協会が公表している、入試「実施要領」では、本試験と追試験の間隔は1週間で想定されており、入試センターからの成績提供日は今回公表された「共通テスト実施要項」と異なる。今後国公立大では、一般選抜の出願期間、一般選抜の第1段階選抜の結果発表日、共通テストを課す総合型・学校推薦型選抜の合格発表日などが改訂されると思われる。

今春2022年の共通テストで、スマホを用いたとされる不正行為があったことは記憶に新しい。入試センターでは2月以降、有識者の協力のもと対策を検討。防止策を取りまとめ、「実施要項」とあわせて公表した。

不正行為防止策の基本的な考え方として以下の4点が示された。

- ・「不正行為を行う者は極めて少数。大多数は誠実に受験している。受験者に過度な負担を強いるものではないこと」
- ・「大学（監督者）の負担増となって、試験の円滑な実施に支障が出ないこと」
- ・「2023年の共通テストで効果が期待できること」
- ・「今後の技術の進展に応じて適宜検討を行うこと」

こうした考えのもと示された防止策の要点は前ページに記した通りだ。なお、スマホなどからの電波を妨害したり、発信源を特定したりすることなどは検討したが、さまざまな問題があるとして、今後の技術の進展に応じて改めて検討するとされた。

(2022.6 加納)